

第8回東日本大震災草の根支援組織応援基金配分先一覧(11団体、計251万円)

No	団体名 (設立年)	活動拠点 (代表者名)	支援活動概要	資金使途	配分額 (円)
岩手県					
1	(特活)パワーアップ支援室 (2010年)	北上市 (本館 淳)	落ち葉や廃棄する天然資源を利活用した復興商品、乾燥野菜チップなどを被災者につくり販売し、被災者の生活力向上の後押しを図る。	・商品製作に必要な機材や材料の費用 ・旅費交通費など	300,000
宮城県					
2	(特活)応援のしっぽ (2011年)	石巻市 (廣部 知森)	復興公営住宅における手作りワークショップおよび体操ワークショップの定期開催を通じたコミュニティ形成支援の実施。	・ワークショップ材料費 ・体操用具 ・チラシ制作費用など	250,000
3	(特活)子どもの村東北 (2012年)	仙台市 (飯沼 一宇)	震災孤児を対象に学習の機会を提供し、養育環境の悪さに起因する学習の遅れを解消させ、自己肯定感を向上させる事業を実施。	・学習塾費用 ・テキスト代 ・習い事に係る費用など	410,000
4	(特活)チャイルドラインみやぎ (2001年)	仙台市 (小林 純子)	被災児童に対する相談を手掛ける相談員に対する研修を実施。また、子どもの電話受付の強化も図る。	・旅費交通費 ・講師謝金 ・研修会、講座開催費など	350,000
5	(特活)ベビースマイル石巻 (2011年)	石巻市 (荒木 裕美)	被災地の親子に対する情報交流、相談支援を目的に、子育てコミュニティカフェを運営する。	・イベント等材料費 ・スタッフ、ボランティア等謝金 ・会議費など	200,000
福島県					
6	(特活)3.11こども文庫 (2012年)	相馬市 (蟹江 杏)	書籍等の充実、イベントの取組み内容の改善をとおして、被災地のこどもたちとの心のつながりと支援を進める。	・絵本購入費など	100,000
7	(特活)しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島 (1996年)	郡山市 (遠野 馨)	被災者や避難者を対象に、いわき市、福島市、白河市で手芸講座「チクチクまざっぺ講座」を開催。	・材料費など	100,000
8	福島県立新地高等学校 (1906年)	新地町 (高島 秀一)	追悼記念樹「おもひの木」に関連した記念品を製作し、「おもひの木プロジェクト」活動などの様子を情報発信し、福島の復興につなげる事業。	・エコバック製作材料費 ・大型プリンターインク代など	100,000
9	すくのびくらぶ (2014年)	いわき市 (前澤 由美)	子育て中の家族・地域・専門家や関係機関等と連携した、学習支援や進学支援の実施。	・学生指導員謝金 ・インターネットなど通信費 ・勉強会・ワークショップ開催費など	300,000
10	福島県立ふたば未来学園高等学校 (2015年)	広野町 (丹野 純一)	①同校社会起業部が設立したカフェの企画運営、②広野町マルシェの企画運営への参画、③広野町サマーフェスティバルへの出店、④地域に根ざした各種イベントの開催など。	・飲食物製造器具類、食器 ・イベント用機材レンタル費 ・ポスター印刷代など	250,000
11	(一社)結び葉 (2019年)	広野町 (石井 美有)	地元高校生と共同開発した商品の販売活動をとおして、福島県の復興推進、情報発信、風化防止を図る。	・販売に必要な消耗品費 ・通信費など	150,000
合 計					2,510,000